

研究課題 (テーマ)		生物工学科になじみの深い富山の製薬企業および醸造企業の研究会	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	生物工学	教授	五十嵐 康弘
	同上	教授	占部 大介
	同上	教授	西田 洋巳
研究結果の概要			
<p>富山県内の製薬系企業2社（アステラスファーマテック、金剛化学）、化学系企業1社（三菱ケミカル）、醸造系企業1社（吉乃友酒造）から講師を招聘し、それぞれの企業の特長、業務内容、生物工学分野との関連性について、紹介していただいたのち、自由形式で質疑応答を行った。</p> <p>各回の出席者は、それぞれ24名、10名、18名、20名であり、終了後のアンケートでは、各業界の企業に関心を持ったか、富山県内の企業に関心を持ったか、など学生の意識変化を調査した。</p> <p>本プログラムは、生物工学科になじみの深い（卒業生が就職しただけではなく、日々の講義や実習において学んでいることに関連している企業を含む）富山県内企業を招聘し、本学で企業紹介・交流会を行い、学生の富山県内企業への就職意識を高めることを目的として行われた。達成目標として、この企業研究会を契機として、富山県内企業へ就職する学生を一人でも多く出すこと、企業研究会の前後でアンケートを取り、研究会後に富山県内企業への関心が高まった結果を得ることの二点を設定した。</p> <p>事後アンケートでは、参加者のべ72名のうち、55名が県内企業に関心を持った、また66名が招聘した企業に関心を持ったとの回答であった。特に、本研究会に参加する前は13名が三菱ケミカル社を知らなかったが、説明を受けた後には14名が関心を持つようになった。このことから、学生が独力では本学科と関連のある県内企業の情報を十分に得られていないことが明らかとなった。</p>			
今後の展開			
<p>アンケートでは、参加者全員が今後もこの企業研究会を継続して欲しい、との回答であったことから、県内企業を知る上で、三年生にとって有益な機会となったことは間違いない。次年度以降も継続実施し、学生への情報提供の場を設ける必要があると考えている。</p>			